

わかたけ通信

発行 北川かっぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

2009年7月4日

Vol. 79

梅雨の晴れ間は
いそいで洗濯
号

「第14回 北山わんぱく夏まつり」へようこそ



「北山北川わんぱく講座」6/20(土) 光の不思議「ホタル観察会」報告

今年もたくさんのホタルが飛んで楽しい観察会になりました。夏至直前の土曜日、狭山公園でホタル博士の近藤邦雄さんを講師にお願いしました。

昨年より1週遅くした開催でした。狭山公園事務所前で、ホタルのレクチャー、その後回田小学校裏のせせらぎのみちへ移動。ここは、ヘイケボタルが住む小川でカワニナを観察することができる場所です。狭山公園内の北川は残念ながら、川面に降りることができないので、どんな場所にホタルが住むか観察できません。そのため、毎年このせせらぎに来てホタルの住む環境を説明します。再び狭山公園、夕暮れの中でホタルの出没を待ちました。

7時半すぎ、ようやく数匹ホタルが飛び交うようになり、ホタル観察になったとほっとしました。真っ暗な8時頃には、昨年より少ないものの2、30匹のホタルが飛んでいるように見えました。

狭山公園の整備後、川沿いのフェンス部分の照明が撤去されホタルを観察しやすい環境になりました。

この7月ごろには、今度はヘイケボタルが飛ぶのでしょうか。いつまでも残したい大切な風景です。(岡田)

第14回北山わんぱく夏まつり

今年も「北山わんぱく夏まつり」の季節がやってきました。多くの子供たちとともに、楽しい夏の日をすごしたいと思います。今年はサブ会場として、この5月にオープンした「八国山たいけんの里」も加わり、また外部の様々な方々のサポートを受け、より充実した内容で開催することができそうです。多くの方々の参加をお待ちしております。なお、開催にあたり、一橋大学エコサークル「環兵衛」の方々より、多額のご寄付等をいただくことになりそうです(古本の売上代金を寄付していただく)。感謝!

- 日時/8月2日(日) 10時~16時(雨天中止;中止の場合はかつぱブログに掲載)
- 場所/主会場;北山公園内親水広場周辺、サブ会場;八国山たいけんの里、八国山
- 遊びメニュー/主会場;北川カヌー体験、北川ウォーク+魚とり、ザリガニ釣り、八国山虫とりハイク、北川水族館、サブ会場(八国山たいけんの里);弓矢体験、火おこし体験、昆虫おりがみ他
- 出店/飲み物他
- ライブ/6月末現在未定

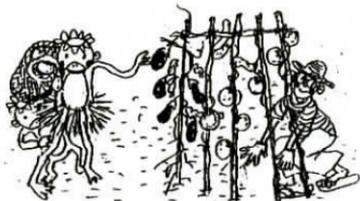
サポーター募集

性別、年齢、経験不問です(ホームページからメールでご連絡ください。
<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>)。

- ★ 8月1日(土) 午後/①テント、机、椅子の搬入、②竹取り、③立て看板作り、④印刷作業など
- ★ 8月2日(日)/①カヌー遊びサポート、②北川ウォークで魚とりサポート、③ザリガニ釣りで釣竿づくり他、④八国山ハイクで虫とりサポート、⑤飲み物等の販売、⑥テント設営・撤収等

なお、夏まつり関係の最新情報は、かつぱブログをご覧ください。

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>



北山小学校土曜講座「北山北川わんぱく講座」「ヤゴ救出作戦」

報告 5/31(日) ギンヤンマなど1149匹を救出!



今年も北山小土曜講座(全4回+a)がはじまりました。第1回目は恒例のヤゴ救出作戦、雨のため1日を延期しての開催でした。

昨年の9月、プールにヤゴいかだを設置し赤トンボ以外のトンボを呼び込もうと計画しました。それがズバリの中。今年では体調4

~5cmの大きな大きなギンヤンマのヤゴがいっぱいいてびっくり。水を抜いたプールで約1時間半、みんなでヤゴをすくいました。その結果はギンヤンマ...789匹アカネ...360匹 合計1149匹

アカネ系よりギンヤンマが優勢を占めていました。これは、アナネがギンヤンマに食われた可能性もあります。全体数は06年の2362匹には及ば

ないもの
07年175
匹、08

年:569匹に比べれば、ようやく増えて来ました。

救出したヤゴは、参加した子供及び3年生全員が教材としてヤゴを飼うということで100匹ほど学校に残し、残りを北山公園の菖蒲田や池に放ちました。なお、子供たちが飼ったヤゴはその週にも羽化したものもあり、約10人位の子が羽化したと教えて

てくれました。参加人員は、児童+兄弟33人、保護者15人、かっぱスタッフ5人、先生1人でした。(岡田)

大きなギンヤンマのヤゴ



今後の予定

参加、協力をお願いします

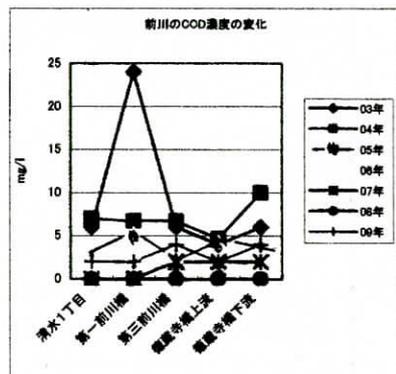
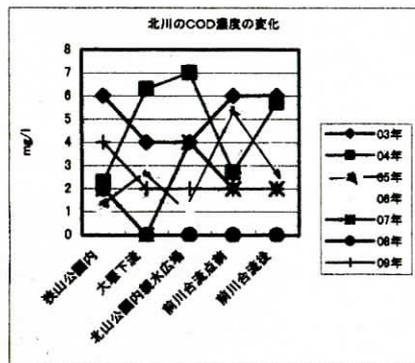
7/18(土) 午前5:00~8:00 八国山虫とりハイク

9/12(土) 10:30~12:30 北川魚取りと水底生物観察

6月7日(日)、全国の川・一斉調査に参加し、北川5ヶ所、前川5ヶ所の計10ヶ所の水質や水底生物を調査しました。当日は前日までの曇天がウソのように晴れ渡り、少し暑いくらいでしたが、子供4人を含む総勢14名で元気に調査を実施しました。

前日までの雨が影響してか、透視度はほとんどの地点で1mを超え、またCOD濃度も多くの地点で2p

pmという状況でした。また、下流に行くほどpH濃度が高く、酸性化が気になる状況でした。水底生物については、上流部ではカワニナが確認できた一方、全般的にミズムシやヒル、また北川と前川の合流部付近ではサカマキガイなども確認することができ、水質が改善されているとは言いがたい状況と思われました。結果の詳細については、6/13付のかっぱブログやホームページをご覧ください。



5/9(土) たっちゃん池のブラックバスを考える意見交換会を開催

去る5月9日(土)の午前、狭山公園内にある宅部貯水池、通称「たっちゃん池」のブラックバスを考える意見交換会が開催されました。たっちゃん池から流れ出た水は、洩れなく北川に入ってくることから、北川の清流を取り戻していくためにも、最上流部でのブラックバス駆除が、とても重要であると北川かっぱの会では考えています。その意味から、とても重要な意見交換会であったと思われま

<5月>

北川は水の少なかった先月とは様変わり。今月は雨上がりで水量も多く清流復活を思わせるようでした。善行橋下流の溪流エリアでは心地よい水音が響いていました。土手の砂礫層からは幾筋もの湧水があり、新緑のトンネルの中ではオゾンが満喫できました。今月も浅い所には小魚が全くと言って良いほどいませんでしたが、善行橋の魚道や、田んぼ脇、北山小の橋、大関橋等付近の比較的深い所では、オカワ、モコ等的小魚が沢山泳いでいました。水が温みザリガニも出てきました。青大将も姿を見せてくれました。北川の生きものたちが活動し始めたようです。人間の水ガキも川遊びを始めたようで、川原には本流から引き込んだ細い水路が出来ていました。

子供達ももっともっと楽しい川遊びのできる北川になればいいと願っています。

<6月>

北山公園は今、花菖蒲が真っ盛り。朝早くから大勢の人が訪れています。初夏を思わせるような気候ですが、善行橋下流の緑のトンネルの中に入ると、心が洗われるような心地よさを感じます。水中に目を凝らせばザリガニがたくさんいます。底にじっとしていたり、石の下に尻を隠して頭だけ出していたり、コクリ護岸の水抜きの管の中に潜んでいたりと様々です。北山公園を訪れる多くの人が公園に沿って流れる北川を覗き込んで行きます。そして、コイや小魚が泳いでいるのを見ては感動の声をあげます。いつもゴミの無いきれいな川であってほしいから、ゴミを捨てる人間がいなくなることを本当に願っています。今月はペットボトルや空き缶などが比較的多かったばかりでなく、コーラなど危険な空きビンが4本もありました。絶対に捨ててはいけな

いゴミです。(松村)

ボランティアグループ「北川水辺倶楽部」

- *毎月第2土曜日9時~11時
- *集合：北山小学校正門9時
- *連絡：松村 (042-393-1852)

“川の生き物を飼おう”

いよいよ夏、水辺の遊びが楽しくなってきました！ 今年、川で捕った魚やザリガニを長く飼ってみましょう。 そのために…

①水槽等の準備：川に行く1週間前には準備する。なるべく大きな水槽等に水を入れ、濾過器（各種あるが効果はほぼ大きさに比例する）をセットして回しておきます。→魚のフンなど水の汚れを分解するバクテリアをまぜ繁殖させる。

水を入れると重たいので、飼育容器の置き場所には注意する（夏は日陰か室内が水溫的に無難）。

②採集・持ち帰り：傷つけないように優しく扱う。移送中は、ビニール袋の場合、水は少なめ、多めの空気で膨らませて口を閉じる。電池式のポンプを使用してもよし。できるだけ温度を上げぬようにし、短時間で持ち帰ります。→感染症の予防&環境の変化によるストレスをできるだけ抑える。

③飼育：水槽にたくさんの生き物を入れない。餌をやり過ぎない。水草や隠れ場所を入れる→水の汚れを抑える・生き物が落ち着く・けんか共食いを避ける。濾過器があっても一週間に1回1/3程度の水を交換する。交換する水は汲み置きしておく。→水道水の塩素分が抜け、水溫も合う。

(康)

かっぱの楽校
失敗も成功も！



【報告】 北川流域植物観察会

5月9日(土) 13:00~16:00

北川流域植物観察会が開催されました。少し暑いぐらいの陽気でしたが、9人の参加を得て、北山公園と北川を中心としたエリアの植物観察をしました(北川かっぱの会としては初めての試み)。

北山公園での観察の様子



植物観察会に参加して

5月9日、北山公園の植物観察会に参加させていただきました。いつものフィールドである空堀川では、この区間にはどんな植物がどのくら

いの頻度で観察されるか、花が咲き終わるまでに調査を終えることができるか、と目を皿のようにして歩きます。でもこの日は、草木を楽しむという野草好き本来の時間を過ごすことができました。

歩き始めてすぐにムラサキサギゴケの群生を発見! 湿地という条件が育んだ植物もたくさんあります。観察会のメンバーがそろって散策を開始しましたが、植物に関心のある方々ばかり、みんなで足元を見ながらがやがやと歩きます。

これまで図鑑でしか見たことのないカズノコグサ、ミヤマシラスゲ、ヤワラスゲ、ホソイを見つけました。自宅で写真を見ながら「図鑑と同じだ!」と大喜びしました。

この会での「予習」が役に立ち、その後、空堀川でもホソイ、ミヤマシラスゲを見つけることができました。

神山みつ江

【報告】 南台&富士見小土曜講座「水のふしぎ探検隊」

6月20日好天のなか、かっぱの会が協力して、南台&富士見小土曜講座「八国山にいこう」が実施されました。八国山での虫捕り観察を通じて、児童に生き物や自然に親しんでもらうことが目的です。総勢19名で出発、八国山に入るとすぐ木の上にいるコクワガタのペアをゲット。幸

先良いスタートとなりました。その後も道々虫の姿を見つけ、この日一番多く見られたヨツボシケシキスイという樹液に来る虫をみんなで覚えました。最後に八国山たいけんの里で弓矢体験もして、約4時間楽しく過ごしました。

(ビー永島)

インフォメーション

● 定例川そうじ 7月11日(土) 9:00~10:30頃(北山小正門前集合)

● 北山小土曜講座(八国山虫とりハイク) 7月18日(土) 5:00~7:30頃
→セミやカブトムシの棲む八国山の早朝ハイク。カブトムシやクワガタの大好きな秘密の木を教えます。

● 第3回夏まつり実行委員会
7月18日(土) 15:00~17:00 (八国山たいけんの里の屋外広場→変更の場合はブログに掲載)

● 第14回北山わんぱく夏まつり
8月2日(日) 10:00~16:00 詳細は本号に掲載

● 定例川そうじ 8月8日(土) 9:00~10:30頃(北山小正門前集合)

● 川端会議 9月5日(土) 10:00~12:00 (ふるさと歴史館会議室)

● 富士見小+南台小土曜講座(北川の魚と遊ぼう) 9月5日(土) 10:30~14:00頃(北山公園親水広場付近)

● 北山小土曜講座(北川の魚と生き物をのぞいてみよう) 9月12日(土) 10:30~12:30(学校周辺の北川)

● 秋の北川クリーンアップ
10月18日(日) 10:00~12:00

本誌についての問合せ先
TEL 042-395-7705 渡辺

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。●会費 年間3000円。「かっぱ通信」(年5回)をお送りします。●問い合わせ・申込み先 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

上記へ現金書留または
〔郵便振替 00120-6-104476〕
〔りそな銀行東村山支店(普)3605694〕
加入者名 北川かっぱの会

「かっぱ通信」は市内の公民館と図書館に置いてあります。

『北川流域マップ』 200円

流域散歩にご利用ください。

『未来の川へ・北川復元プラン』北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000+円 郵送料390円

☆ 定例会 9月19日(土) 13:30~15:00頃

(かっぱ亭(改め MARU 茫々亭(ぼうぼうてい))) →10月から12月頃までの活動内容を中心に検討します